参加申込の方法

問い合せ 12/12まで

資料取得

申込み 12/19締切

面接 12/21-23

説明会

問い合わせ

当会インフォメーションセンター(078-843-8849)までお電話(ださい。

お電話にて資料請求も受け付けております。 お問い合せは平日・土曜日の午前10時から午後 6時まで受け付けいたしております。

2 資料取得(資料請求 or 説明会) 資料取得のため、電話での資料請求又は参加希

望者説明会にご出席ください。 資料請求頂いた場合、ご自宅に資料及び申込書 をお送りいたします。

説明会では、担当者による説明のほか、過去の 参加者による体験談などの紹介も行います。 説明会当日に資料及び申込書を配付いたしま す。

説明会への出席は必須ではありません。

3 申込み(申込書郵送)

所定の申込書に必要事項を記入押印の上、写真 を貼り付け、当会事務局までご郵送ください。 締切:12月19日(金)必着

4 面接(参加者決定)

参加申込者の面接を12月21日(日)又は23日 (祝)に行います。

参加申込書及び面接の内容により、審査の上、 参加者を決定します。

5 参加者説明会

参加決定者及びその保護者を対象に、説明会を 実施します。キャンプの詳細な説明及び各種手 続きを行います。

説明会時に参加申込金10,000円を申し受けま

刻而希望者説明会

日時

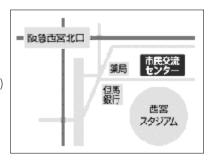
2003年12月 6日(土) 12月 7日(日)

13:30 - 15:00 13:30 - 15:00 15:30 - 17:00

15:30 - 17:00 15:30 - 17:00

12月13日(土) 13:30 - 15:00 場所 西宮市市民交流センター(阪急西宮北口駅東へ徒歩3分) 詳細についてはお電話にてお問い合わせください。

日程が合わない方は、個別に対応いたします。



- 名 称 マレーシア植林ワークキャンプ 2004
- 日 程 2004年3月26日(金)~4月3日(土) 8泊9日
- 場 所 東マレーシア・サバ州、コタ・キナバル
- 対象 高校1~3年生(2004年4月時点において)15名(最小催行人数11名)
 - ・当日までの事前合宿および勉強会に積極的に参加できること。
 - ・帰国後、報告書作成及び5月に実施予定の報告会に参加する意志があること。

参加費 120,000 円

上記参加費には事前勉強会、合宿などの費用、キャンプ中の全ての食費、宿泊費、保険料及び関西国 際空港から現地までの往復旅費等を含みます。

上記参加費には、予防接種、渡航のための準備費用などは含まれません。

別途財団法人オイスカへの「子供の森」基金のための5000円が必要です。

- 引 率 スタッフ7名(予定)
- 協力 財団法人オイスカ、マレーシア航空、株式会社アカデミートラベル
- 主 催 特定非営利活動法人 ブレーンヒューマニティー

〒662-0832 西宮市甲風園 1 丁目 3-12 カミヤビル 3階

Tel 0798-63-4442 Fax 0798-63-5551

URL http://brainhumanity.or.jp E-mail malaysia@brainhumanity.or.jp

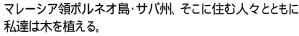
担 当 巴山 雄史(ハヤマ ユウシ)

激減する熱帯雨林。加速する温暖化。 私達ができること。

現在、地球上では日本面積の約40%にあたる熱帯雨林 が毎年失われ続けている。森林破壊によって温暖化は加 速化し、地球全体の生態系が確実に崩れ始め、深刻な問 題となっている。

マレーシアは、マレー半島とボルネオ島北部に広がる、九 州を除いた日本とほぼ同じ国土を持った国である。豊かな 熱帯林におおわれていたが、近年、エルニーニョ現象によ る干ばつ、森林火災、伐採などによりその自然が失われつ つある。

木を、そして心を植える。



現地の人々との交流を通じて、このかけがえのない地球の 将来のためにできることをしようではないか。

異国の地での共同作業は、国や人種を越えて、きっと私達 の心を動かしてくれるに違いない。



教室から飛び出して、世界を知る。



学校、授業、テスト・・・。机に座っているだけが勉強ではな い。学校では教えてくれないことがある。

広い世界を知るために、そして自分を知るために、この狭い 教室を飛び出してみないか。

そこにある素晴らしい出会いや体験が君を待っている。

今だからこそ、できること。

君だからこそ、できること。

その一瞬一瞬が、大きな糧となる。

Malaysia Afforestation Workcamp 2004

マレーシア植林ワークキャンプ 2 0 0 4

BrainHumanity

Kamiya-building 3F 1-3-12 Kofuen Nishinomiya Hyogo, JAPAN tel:0798(63)4442 fax:0798(63)5551 E-mail: malaysia@brainhumanity.or.jp URL http://www.brainhumanity.or.jp

自然と人とをつなぐ「子どもの森」計画。

世界中の子ども達が森の大切さを知り、緑を守り、育てていくことが、地球の緑をよみがえらせることにつながるとの願いから始められた。

子ども達自身が、学校の敷地や隣接地で苗木を植え育てていく実践活動を通じて、「自然を愛する心」「緑を大切にする気持ち」を養いながら、地球の緑化を進めていこうというプログラムである。1991年にはじまったこの活動は、2003年現在24の国・地域の2,757の学校が参加するまでにその輪が広がっている。



何処でも変わることのない子どもの笑顔。



木を切ってしまったのは人間であるならば、木を植えて育てるのも 人間でなければならない。だからこそ、今、子ども達と一緒になっ て木を植える。大き〈育つには時間がた〈さんかかるけれど、植え るのはまだ始まったばかりだ。子ども達、その子ども達、そのまた 子ども達の笑顔のため、未来のため、そして地球の緑のために も、初めの一歩を踏み出さなければならない。一人一人の一歩 が、地球の未来を創る。

私達はそこで木を植える。 そして、その木は人々の心をつつみ、未来を創る。

活動内容

植 林

現地在住のオイスカ職員とともに、現地の学校の敷地内やその周辺に植林をする。主に穴を掘り、木を運び、それを植えるといった作業を行う。

ホームステイ・文化交流

植林ワーク中は現地農村にてホームステイをし、その他、センター研修生と農業体験を行なう等、現地の住民と生活を共にすることで相互の交流と理解を図る。

周辺地域の見学

現地での体験学習、ジャングル視察、サバ州市内見学、コタ・キナバル見学、マングローブ林のボートクルーズなどを通して、活動場所以外のマレーシアを知る。





Schedule

プログラムスケジュール

3月26日(金) 関西国際空港発

マレーシア クアラルンプール経由 コタ・キナバル着

(コタ・キナバル周辺のホテルにて宿泊)

27日(土) オリエンテーション(現地研修センターにて宿泊)

28日(日) 観光·移動 ~

29日(月) ワーク

30日(火) ワーク ホームステイ

31日(水) ワーク

4月 1日(木) ワーク(現地研修センターにて宿泊)

2日(金) コタ・キナバル市内見学

コタ・キナバル発

クアラルンプール経由(機中泊)

3日(土) 関西国際空港着

宿泊は、一部を除いて、現地農村でのホームステイになります。ホームステイでは、参加者1名又は2名程度が1つの家庭に宿泊することとなります。



ブレーンヒューマニティーのこれまでの活動

特定非営利活動法人 BrainHumanity は、1994年に設立され、2000年3月に兵庫県知事より特定非営利活動法人の認証を受けた民間非営利組織です。子ども達や若者が多様に自分らしく生きることのできる社会を目指して、次のような活動を行っています。(年間予算:約6500万円・年間事業数:53事業・年間受益者総数:約9000人 2003年度計画)

これまでの海外ワークキャンプ活動

高校生フィリピンワークキャンプ (2001年8月):住居建設活動

- ・フィリピン共和国 ネグロス島 ドゥマゲッティ市 ・参加高校生 20名 引率スタッフ 7名高校生USAワークキャンプ in Santa Fe (2002年8月):住居建設活動
- ・アメリカ合衆国 ニューメキシコ州 サンタフェ市 ・参加高校生 9名 引率スタッフ 5名 高校生フィリピンワークキャンプ (2002年8月);住居建設活動
- ・フィリピン共和国 ボホール島 タグビララン市 ・参加高校生 20名 引率スタッフ 7名 高校生震災復興ワークキャンプ in INDIA (2003年3月);被災家屋再建のための住居建設活動
- ・インド グジャラード州カッチ県 ・参加高校生 8名 引率スタッフ 7名 高校生タイワークキャンプ (2003年8月);ハンセン病療養所の施設整備活動
- ・タイ コンケーン県 ・参加高校生 8名 引率スタッフ 7名

海外ワークキャンプ以外の活動

阪神・淡路大震災で被災した子ども達への支援活動

小中学生等に対するキャンプ等のレクリエーション活動

不登校の子ども達やその保護者への支援活動

中学生・高校生への学習支援事業

地域の祭りなどの企画運営(神戸よさこいまつりなど)

その他、行政等からの委託事業

